



かつお節パワーで  
日本一目指して

■4月21日、鴨池球場で行われたプロ野球公式戦ソフトバンクホークス対楽天イーグルス戦を前に、枕崎水産加工組合の西村協組合長がソフトバンクホークスの内川聖一選手に枕崎鯉節の本枯れ節を贈呈しました。



### 茶畑沿いを爽快ウォーキング

■4月28日、市スポーツ少年団歩こう会が妙見グラウンドと少年の森を往復するコースで行われました。



### 一流の音色に心癒される

■5月19日、市民会館で枕崎ミュージックフェスティバルが行われました。内モンゴル出身のテノール歌手ボウジンゾンさんをはじめ、国内外で活躍する音楽家の美声や奏でる音色に観客約700人は心癒されていました。



### 枕崎鯉船人めしパンフが完成

■枕崎鯉船人めしは市内10店舗で食べることができます。どの店舗も趣向を凝らしたオリジナル。全店制覇してみたいはか？



### 子どもたちの元気な声響く ～第30回こどもの日かつおまつり

「こどもの日かつおまつり」が5月4・5日、地場センター周辺で行われました。2日とも晴天に恵まれ、会場は県内外からたくさんの家族連れなどでにぎわいました。来場者は、かつお節削り大会やかつお一本釣り大会などを楽しんだほか、枕崎鯉船人めしやかつおラーメン、ホットドッグを枕崎風にアレンジした「腹皮ドッグ」などのご当地グルメに舌鼓を打っていました。



### きれいになった尻無川でホタル乱舞 ～尻無川でホタルの幻想的な舞

4月下旬から尻無川でホタルが飛び始め、5月中旬から下旬にかけて、例年を大きく上回る数のホタルが幻想的な光の舞を見せました。

「呼び戻そう ホタルや川魚を！」を合言葉に尻無川流域の住民や事業者により、平成21年に発足した「尻無川の自然環境を守る会」。同会では毎年、河川流域の清掃や草刈りなど環境浄化活動を行っています。この継続した活動が今年のホタル増加の要因の一つになったと思われます。

同会の禰占通男会長は「たくさんのホタルの光を目にし、これまでの努力が報われたという気持ち。ぜひ觀賞しに来てほしい」と話していました。

今月号が発行される6月初旬には、ゲンジボタルにかわり、ヘイケボタルの光の舞を楽しむことができます。



### 広がれ！最南端始発駅の花 ～「枕崎駅を想う会」が植物の種をプレゼント

枕崎駅を想う会(積山ユミ子会長)が、枕崎駅に隣接する花壇で丹精込めて育てたアサガオとコスモスからとった種を、駅前観光案内所で駅舎建設のための募金をしていただいた方にプレゼントしています。

この企画を立案した同会の大竹悟さんは「南の始発駅で育てた種が広がり、全国各地で花咲くことを期待しています」と話していました。



### 青空美術館を親子でスケッチ ～親子スケッチ教室

市役所通り、駅通りのアートストリート青空美術館に設置されている立体作品を描く親子スケッチ教室が5月13日に行われ、28人が参加しました。

参加者は親子での会話を楽しみながら、クレヨンや絵の具などを使い、思い思いの絵を描いていました。上園倫太郎くん(桜小1年)は「市役所にある『イキモノ』という作品を中心に、山、空、人、花など見えるもの全部を上手く描けた。楽しかった」と話してくれました。

作品は6月24日(日)まで駅通りにある「にぎわいサロン」(立神電器となり)に展示されています。観覧料は無料ですのでぜひご来場ください。



### 「枕崎バイクの会 みなみの風」交通安全をPR ～枕崎警察署交通安全協力隊を結成

本市のバイク愛好家グループ「枕崎バイクの会 みなみの風」(川畑光賛会長)が5月17日、枕崎警察署から交通安全協力隊の委嘱を受けました。

同会は30～60代の48人で構成されており、定期的にツーリングや懇親会などを行っています。結成から5年が経ち、会員間で「何か社会貢献ができないか」といった話が上がるようになり、今回、枕崎警察署に同会自ら協力の申し出をしました。

川畑会長は「今後も手本となるような安全運転を心掛け、さまざまな場面で交通安全PR活動に役立てれば」と話していました。

今後は、交通安全に関する広報活動や啓発活動などを枕崎警察署と連携して行う予定です。